

一般社団法人

北海道中小企業課同友会 御中

質問 1

自民党政治により最低水準まで落ち込んだ中小企業予算 1700 億円を 1 兆円規模に増額します。軍事費を 5 年で 43 兆円増額するなら、そのごく一部を回すだけで十分可能です。「地域金融活性化法」を制定して資金繰りの円滑化、農商工連携の取りくみ支援強化、生活できる賃金保障へ公契約法の制定を実現します。大型開発から生活密着型へ公共事業を転換します。中小企業憲章と小規模企業振興基本法を活かして中小企業支援を抜本的に強めます。

質問 2

最低賃金については、大企業がアベノミクスの 10 年間に増やした内部留保（200 兆円以上）に 2%の時限課税を 5 年間行い、捻出した 10 兆円を財源に中小企業の賃上げ支援と社会保障料の減免をします。単価や納入価格の保障へ優先的地位濫用への積極的調査と濫用や下請代金法違反への罰金を大幅強化して「下請けいじめ」をなくします。そもそも小規模事業者に身銭を切らせる消費税はゼロを目指し 5%へ、インボイスはただちに廃止します。

質問 3

事業継承税制は 10 年という機関を撤廃し、相続税・贈与税を「猶予」ではなく「免除」にするなど充実させます。所得税法 56 条を廃止、家族従事者の自家労賃を経費に認めて継承の条件をつくります。法人税を累進性にして中小企業へは税率を下げます。国保税の軽減へ公費 1 兆円を投入します。中小企業の採用と人材育成へ支援を強めます。大型店には欧米で具体化されているような「まちづくりアセスメント」など規制ルールをつくります。

2024 年 10 月 24 日

日本共産党北海道 9 区候補

たつの広志